

取扱説明書

日立LEDランプ

HITACHI
Inspire the Next

保存用

高天井用LEDランプ アームタイプ（塩害・オイルミスト・粉じん対応）

形式：WSBME1101MNC、WSBME1601MNC、WSBME2101MNC

日本国内用

- このたびは日立LEDランプ（以下LEDランプ）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- LEDランプの取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。
- お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。ここに示した注意事項は、表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

工事店様へ この取扱説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



警告



- LEDランプは天井取付専用です。壁面などへ取り付けない。
※落下による死亡やけがの原因となります。
- LEDランプを改造しない。※火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- 防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんなど、引火する可能性のある場所では使用しない。※火災・爆発の原因となります。



- 取付工事は「3. 取り付けかた」に従い、確実に行う。
※不備があると、火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- 高所作業を行う施工現場は、作業床（足場）を設置し、転落や落下の危険性を十分に排除する。
※転落などによる死亡やけがの原因となります。
- 高所作業を行うときは、転落事故防止のため、必ず安全帯を使用する。

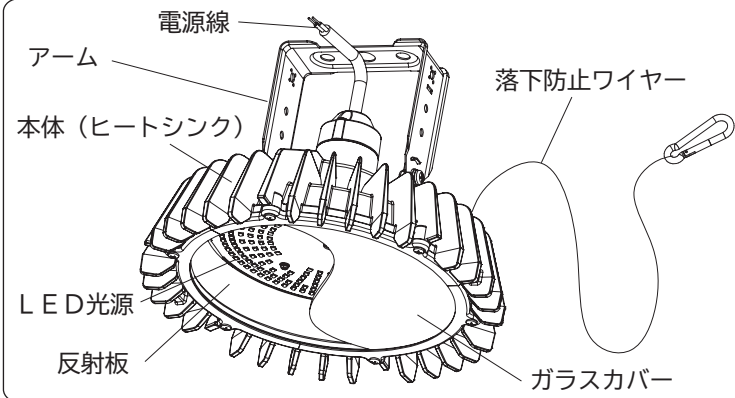


注意



- 一般屋内用および軒下用照明器具です。直射日光のあたる場所・直接雨が降りかかる場所・振動のある場所・酸・アルカリなどの腐食性ガスの発生する場所・浴場など連続的に湿気の高い場所・蒸気や風などが直接あたる場所では使用しない。※火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- オイルミスト・粉じんが常時舞う場所では使用しない。※破損の原因となります。
（オイルミスト・粉じんが一時的に舞う場所では使用可能です。）
- 海水飛沫および潮風が直接あたる場所では使用しない。感電・落下による死亡やけがの原因となります。
（海岸から約300m以上離れた地域に設置する。）
- LEDランプに物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。※破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度－25℃～50℃以外の場所では使用しない。※火災・不点灯・短寿命の原因となります。
- 放熱を妨げるような狭い空間で使用しない。※LEDランプが過熱し、火災・不点灯・短寿命の原因となります。
- カバー一面を下にして、床などに直接置かない。※カバーの割れ・傷の原因となります。
- 非常用照明、誘導灯器具、防爆用器具では絶対に使用しない。※破損・発煙・点灯回路損傷の原因となります。
- LEDランプは適合点灯装置以外との組み合わせでは使用しない。
※商用電源に直接接続したり、HIDランプ用安定器で使用した場合、破損・発煙・点灯回路損傷の原因となります。
- 電源線接続部を防水絶縁処理せずに使用しない。
※絶縁性能が損なわれ、火災・感電・絶縁不良の原因となります。
- LEDランプの大きさ（外径、長さ）および重さを十分考慮した強度のある造営材や露出ボックスへ取り付ける。※落下による死亡やけがの原因となります。
- LEDランプと被照射物は1m以上離して使用する。
※1m以上離さないと、火災・被照射物の変色や変形の原因となります。

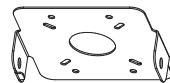
2. 各部の名前



図はWGBME2101MNCです。

<付属品>

露出ボックス連結板



自己融着性絶縁テープ ×2

連結板取付ねじ

・M6ねじ×2個



・M4ねじ×4個



3. 取り付けかた

表1 LEDランプ質量

形式	質量(*1)
WGBME1101MNC	1.4 kg
WGBME1601MNC	1.9 kg
WGBME2101MNC	1.9 kg

(*1)落下防止ワイヤーを含まない。

1 取り付け前に確認する。

- 取付部（造営材や露出ボックス）の強度がLEDランプ質量（表1）に十分耐えることを確認する。

2 LEDランプを取り付け、点灯装置と接続する。

<造営材直付けの場合>

図1 取付ボルト施工寸法

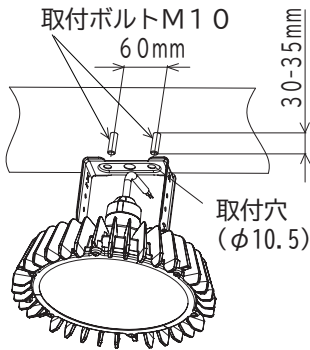
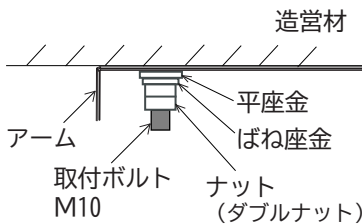


図2 LEDランプの取り付け

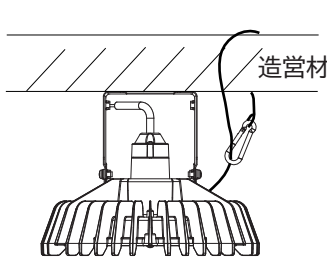


取付ボルトM10に平座金、ばね座金の順に挿入した後、ナット（ダブルナット）で固定する。

注意 推奨締付トルク25 N・m

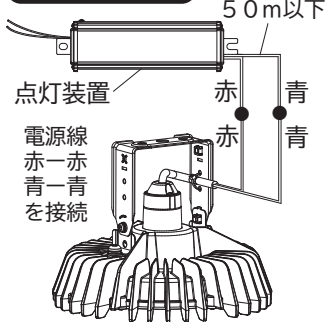
ボルトやナットに油等を塗らないでください。

図3 落下防止ワイヤーの取り付け



強度のある造営材へ落下防止ワイヤーで固定する。

図4 配線接続



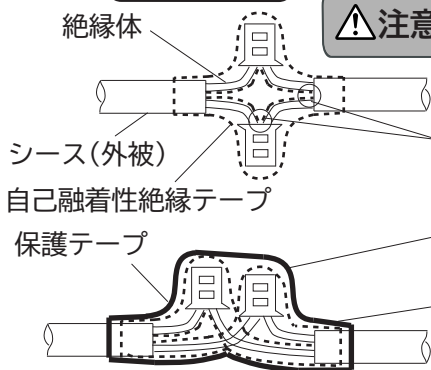
注意 適合点灯装置を使用する

- 接続には閉端子や差込形コネクタを使用する。（手より結線禁止）
- 電源線接続は、内線規定にしたがい行う。（内線規定1335-7~9に準ずる）

3 電源線接続後、防水絶縁処理を確実に行う。

- 電源線接続部は付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をした後、保護テープを巻いてください。防水絶縁処理は接続部のみでなく、シース（外被）部も含めて行ってください。

防水絶縁処理



注意

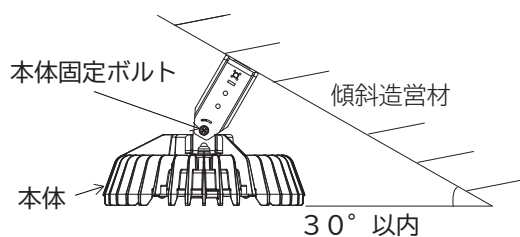
接続・絶縁処理に不備があると火災・感電の原因となります。

隙間が生じない様に絶縁体の間も自己融着性絶縁テープを巻き防水絶縁処理をしてください。

接続部は上向きにしてください。

自己融着性絶縁テープの上に保護テープを巻いてください。

図5 傾斜造営材に取り付ける場合



本体固定ボルトをゆるめて本体を水平にした後、再び本体固定ボルトで固定する。

注意 本体を水平に

注意 推奨締付トルク 5 N・m

<露出ボックス取り付けの場合>

図1 配線前準備

点灯装置側からの配線を露出ボックスから引き出す。

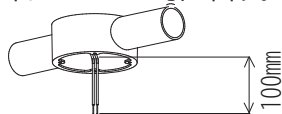


図2 連結板（付属品）の取り付け

付属の連結板を露出ボックスへM4ねじ（4ヶ所）で固定する。

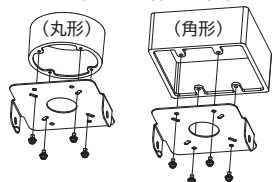
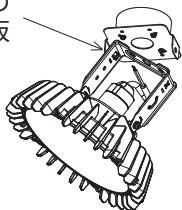


図3 LEDランプの取り付け

LEDランプのアームを連結板のフック部へ引っ掛ける。



LEDランプのアームと連結板をM6ねじ（2ヶ所）で固定する。

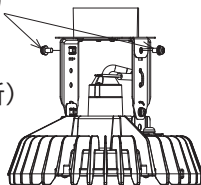


図4 落下防止ワイヤーの取り付け

強度のある造営材へ落下防止ワイヤーで固定する。

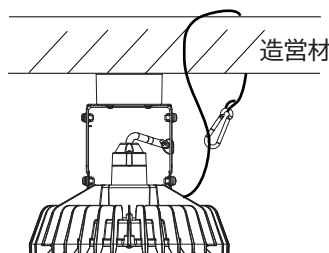
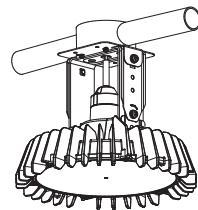


図5 配線接続

電源線赤-赤、青-青を接続し、露出ボックス内へ収容する。



4 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認する。

●絶縁抵抗試験は500V以下の絶縁抵抗計を用いる。※保護機能が作動し、不点灯の原因となります。

5 正常に点灯するか確認する。

お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告



- LEDランプを改造しない。※火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- LEDランプのすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- LEDランプを布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんなど、引火する可能性のある場所では使用しない。※火災・爆発の原因となります。



- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。※火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。※感電の原因となります。

⚠ 注意



- LEDランプの近くで温度の高くなるもの（ストーブなど）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。※故障・火災の原因となります。
- LEDランプの発光面を直視しない。※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- カバーが破損したままで使用しない。※性能を保てないことやカバーの落下によるけがの原因となります。
- 薬品などが付着する場所では使用しない。※樹脂などの劣化により、LEDランプ故障の原因となります。
- 振動や衝撃のある場所や、風が直接あたる場所では使用しない。※LEDランプ破損によるけが・過熱の原因となります。
- 湿度の高い場所、塩素を使用している屋内プールでは使用しない。※LEDランプ破損の原因となります。
- 酸、アルカリなどの腐食性ガス・可燃性ガスの生じる場所では使用しない。※LEDランプの破損の原因となります。
- 調光機能の付いた照明器具および回路は使用しない。※不点灯・短寿命の原因となります。
- LEDランプは適合点灯装置以外との組み合わせでは使用しない。※商用電源に直接接続したり、HIDランプ用安定器で使用した場合、LEDランプの破損・発煙・点灯回路損傷の原因となります。



- 冬季など、長時間使用しない施設では、湿気対策として定期的に通電する。※周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電による感電の原因となります。
- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。
- LEDランプには寿命があります。LEDランプの光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。

ご使用上の注意

- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- LEDランプの近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- LEDランプの近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一ランプ内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じる場合があります。
- 照射距離が近い場合や被照射面によっては明るさのムラが発生することがあります。
- LEDランプの光源は交換できません。交換の際はLEDランプごと交換してください。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- LEDランプは海水飛沫および潮風などによる腐食に対して万全ではありません。
定期的に清掃を行い、LEDランプに付着した塩分を除去してください。

2. 仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

明るさ区分	形式	カバー	質量 [kg] ※1	使用周囲温度 [℃] ※2	適合点灯装置
水銀ランプ 250クラス	WSBME1101MNC	ガラスカバー	1.4	-25~50	WBK10CLN14C
水銀ランプ 400クラス	WSBME1601MNC		1.9		WBK14CLN14C
メタルハイドランプ 400クラス	WSBME2101MNC		1.9		WBK19CLN14C

※1. 落下防止ワイヤーを含まない。

※2. 点灯装置の使用周囲温度は、点灯装置の取扱説明書をご確認ください。

3. お手入れ



- みがき粉・アルカリ性薬品・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんなどでふいたり、殺虫剤をかけたりしない。※割れ・傷・変色・落下によるけがの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、LEDランプが高温になっていますので、手を触れない。
※やけどの原因となります。



- お手入れは必ず電源を切ってから行う。※感電・やけどの原因となります。
- 清掃する際は水に浸したやわらかい布をよく絞り、汚れをふき取った後、乾いた布で拭く。

4. 保証とアフターサービス

- LEDランプの保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご使用中、LEDランプに異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または以下の照明サービスセンターにLEDランプの形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話（0120）-335-762 受付時間：土日祝日を除く9:00-17:00

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111